

支所001	項目名	国府地域活性化推進事業費	新規事業
予算書項目	新地域特別振興費	ページ	173
年度	R3	所 属 名	
		国府町総合支所 地域振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】国府町総合支所 地域振興課 0857-39-0555		
款 総務費	【11次総の施策体系】2403		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 「新地域振興ビジョン」に基づき、「市民と総合支所との協働」を基本とした事業を実施することにより、国府地域の活性化と振興を図る。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 活気あふれる地域の実現に向かい、次世代へ引き継がれるよう地域住民と行政が連携しながら、一体となって地域振興に取り組み、安全に安心して暮らせる、住みたいまち・住んで良かったといわれるまち「万葉のふるさと 国府」を目指す。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ①袋川清掃事業 ②花づくりと緑化推進事業 ③協働活動支援事業 ④地域観光資源活用推進事業		
前年度当初予算額	924	【事業実績】 平成30年度 259千円 令和元年度 932千円 令和2年度 404千円（予定）	
本年度要求額	896		
総務部長段階査定額	894	【事業実績】 平成30年度 259千円 令和元年度 932千円 令和2年度 404千円（予定）	
市長段階査定額	894	【事業実績】 平成30年度 259千円 令和元年度 932千円 令和2年度 404千円（予定）	
区分	本年度予算額	【事業実績】 平成30年度 259千円 令和元年度 932千円 令和2年度 404千円（予定）	
財源内訳	国・県支出金 0 地方債 0 その他 0 一般財源 894 計 894	【事業実績】 平成30年度 259千円 令和元年度 932千円 令和2年度 404千円（予定）	
その他財源の内訳	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈入金 0 その他 0	【事業実績】 平成30年度 259千円 令和元年度 932千円 令和2年度 404千円（予定）	
行財政改革課処理欄			

支所002	項目名	国府フィッシングフェスタ補助金	新規事業
予算書項目	観光キャンペーン事業費	ページ	247
年度	R3	所 属 名	
		国府町総合支所 地域振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】国府町総合支所 産業建設課 0857-39-0560		
款 商工費	【11次総の施策体系】2202		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 国府フィッシングフェスタは、平成4年度から殿ダム建設に伴う湖水や周辺の河川を利用したイベント「マスつりフェスタ」として周辺住民の協力を得てスタートした。以来、鳥取市内外から多数の参加者を迎え、国府地域を代表する観光イベントとして定着してきた。		
目 観光費	しかし、平成29年11月に水産庁から示された「水産分野における産業管理外来種の管理指針」により、ニジマスが河川へ放流することができなくなり、代替魚種への変更を求められたため、令和元年度からニジマスを在来種のヤマメへ変更し、イベント名称を「国府フィッシングフェスタ」に改称して継続開催している。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】 本事業は、豊かな自然と殿ダムの湖水を活用した、地域が一体となるイベントとして、地域振興に資することを目的として実施するものである。		
前年度当初予算額	2,300	【事業の内容】 主 催：国府フィッシングフェスタ実行委員会 時 期：令和3年5月30日（日）＜予定＞ 場 所：袋川（鳥取市国府町楠城地内） ○ヤマメつり大会 ○ヤマメ・マスのつかみどり（子ども対象） ○地域各種団体による特産品の販売等 ○連携イベント（殿ダム）	
本年度要求額	2,290	【事業実績】 平成30年度 2,686千円（参加者約1,200人） 令和元年度 2,376千円（参加者約1,200人） 令和2年度 44千円（新型コロナウイルス感染症拡大防止のためイベント中止）	
総務部長段階査定額	2,256	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
市長段階査定額	2,256		
区分	本年度予算額	【事業実績】 平成30年度 2,686千円（参加者約1,200人） 令和元年度 2,376千円（参加者約1,200人） 令和2年度 44千円（新型コロナウイルス感染症拡大防止のためイベント中止）	
財源内訳	国・県支出金 0 地方債 0 その他 868 一般財源 1,388 計 2,256	【事業実績】 平成30年度 2,686千円（参加者約1,200人） 令和元年度 2,376千円（参加者約1,200人） 令和2年度 44千円（新型コロナウイルス感染症拡大防止のためイベント中止）	
その他財源の内訳	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 868 贈入金 0 その他 0	【事業実績】 平成30年度 2,686千円（参加者約1,200人） 令和元年度 2,376千円（参加者約1,200人） 令和2年度 44千円（新型コロナウイルス感染症拡大防止のためイベント中止）	
行財政改革課処理欄			

支所003	項目名	万葉フェスティバル開催事業費	新規事業																				
予算書項目	文化振興費	ページ	283																				
年度	R3	所 属 名 国府町総合支所 地域振興課																					
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】国府町総合支所 地域振興課 0857-39-0555																						
款 教育費	【11次総の施策体系】2301																						
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 国府地域では、万葉集を編さんした大伴家持が万葉集最後を飾る歌を詠んだ地であることにちなみ「万葉のふるさと」としてまちづくりをすすめてきた。 「大伴家持大賞短歌募集事業」は、因幡万葉歴史館開館の平成6年から始まり、短歌愛好家の間では全国的に周知されることとなっている。 平成21年の万葉集終焉から1250年を記念した「全国万葉フェスティバル in 鳥取」を契機に、翌22年からは従来の「大伴家持大賞短歌募集事業」と「全国万葉フェスティバル in 鳥取」の一部事業を統合し、「万葉フェスティバル in 鳥取」として実施している。																						
目 文化振興費	【事業の目的及び効果】 万葉のふるさと鳥取市を広く情報発信することを目的としており、事業の知名度も向上し、短歌の応募数も年ごとに増加している。																						
(単位：千円)	【事業の内容】 共 催：新日本海新聞社 時 期：令和3年10月17日(日) <予定> 場 所：国府町コミュニティセンター ○短歌募集を行い、大伴家持大賞として選考、審査し表彰式を行う。 また、小中高校生を対象とした短歌講座を行い、短歌の裾野を広げる。																						
前年度当初予算額	3,400	【事業実績】 ・平成30年度 3,000千円 応募数3,874首 (一般2,113首、児童生徒の部1,761首) ・令和元年度 3,400千円 応募数4,072首 (一般2,053首、児童生徒の部2,019首) ・令和2年度 3,400千円 応募数4,508首 (一般1,881首、児童生徒の部2,627首)																					
本年度要求額	3,300	行財政改革課処理欄																					
総務部長段階査定額	3,300	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収金	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
贈収金	0																						
その他	0																						
市長段階査定額	3,300	<table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>本年度予算額</th> </tr> <tr> <td>財源内訳</td> <td></td> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>660</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>2,640</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,300</td> </tr> </table>		区 分	本年度予算額	財源内訳		国・県支出金	660	地方債	0	その他	0	一般財源	2,640	計	3,300						
区 分	本年度予算額																						
財源内訳																							
国・県支出金	660																						
地方債	0																						
その他	0																						
一般財源	2,640																						
計	3,300																						

支所004	項目名	こくふまつり開催費	新規事業																				
予算書項目	市民音楽祭開催費	ページ	283																				
年度	R3	所 属 名 国府町総合支所 地域振興課																					
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】国府町総合支所 地域振興課 0857-39-0555																						
款 教育費	【11次総の施策体系】2301																						
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 国府町では昭和44年から「国府町文化祭」として、地域の功労者の表彰や著名人の講演会、作品展示等の多彩な内容のイベントを開催してきた。その後、わかとり国体を契機に名称を「万葉のふる里こくふまつり 国府町文化祭」とし、更に平成16年の合併を経て、「万葉のふる里こくふまつり」とし、開催している。																						
目 文化振興費	【事業の目的及び効果】 国府地域に伝わる文化を中心とした活動の成果を発表する機会を提供することで、地域の交流及び文化活動の活性化を図るとともに地域の個性豊かな文化を育てる。																						
(単位：千円)	【事業の内容】 主 催：万葉のふる里こくふまつり実行委員会 時 期：令和3年11月3日(水) (文化の日) 予定 場 所：国府町コミュニティセンター周辺 ○オープニングセレモニー ○芸能発表会 ○映画会 ○こどもまつり ○地域の特産物バザー																						
前年度当初予算額	1,750	【事業の実績】 平成30年度 1,750千円 令和元年度 1,750千円 令和2年度 0円(新型コロナウイルス感染症拡大防止のためイベント中止)																					
本年度要求額	1,700	行財政改革課処理欄																					
総務部長段階査定額	1,700	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収金	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
贈収金	0																						
その他	0																						
市長段階査定額	1,700	<table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>本年度予算額</th> </tr> <tr> <td>財源内訳</td> <td></td> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>340</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>1,360</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,700</td> </tr> </table>		区 分	本年度予算額	財源内訳		国・県支出金	340	地方債	0	その他	0	一般財源	1,360	計	1,700						
区 分	本年度予算額																						
財源内訳																							
国・県支出金	340																						
地方債	0																						
その他	0																						
一般財源	1,360																						
計	1,700																						

支所005	項目名	鳥取砂丘らっきょう花マラソン開催費	新規事業
予算書項目	鳥取砂丘らっきょう花マラソン開催費	ページ	295
年度	R3	所属名 福部町総合支所 地域振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 福部町総合支所地域振興課 0857-75-2811		
款 教育費	【11次総の施策体系】 1303、2403		
項 保健体育費	【事業の経過及び背景】 本大会は、山陰海岸国立公園鳥取大砂丘と全国有数の生産を誇る鳥取砂丘らっきょうを全国にPRする目的で企画しており、令和3年度で35回を迎える。平成28年度より実行委員会運営方式とした。		
目 体育振興費	【事業の目的及び効果】 鳥取砂丘の自然とらっきょうの花の咲く中でさわやかな汗をながし、この大会を契機として体力づくりに励んでいただくとともに、砂丘の里ふくべの文化、産業、観光等を広く全国に紹介する。また、山陰海岸ジオパークの世界認定と地理的表示保護制度（GI）登録を記念し、だれでも気軽に参加できる健康マラソンを目指す。		
(単位：千円)	【事業内容・実績】 らっきょうの花が咲く10月の最終日曜日（予定）にマラソン大会を開催する。 ・主催：鳥取砂丘らっきょう花マラソン大会実行委員会 ・場所：鳥取砂丘オアシス広場周辺 平成30年度 3,216千円 参加者1,600人 令和元年度 3,216千円 参加者1,421人 令和2年度 0千円（新型コロナウイルスの影響により中止）		
前年度当初予算額	3,216	【今後の取り組み】 大会内容の充実とともに大会告知に努め、参加者の増加を図る。 【根拠計画】 第11次総合計画 【市民ニーズの状況】 参加者には好評で、継続を望む意見が多数。	
本年度要求額	3,216	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
総務部長段階査定額	3,216	【事業内容・実績】 らっきょうの花が咲く10月の最終日曜日（予定）にマラソン大会を開催する。 ・主催：鳥取砂丘らっきょう花マラソン大会実行委員会 ・場所：鳥取砂丘オアシス広場周辺 平成30年度 3,216千円 参加者1,600人 令和元年度 3,216千円 参加者1,421人 令和2年度 0千円（新型コロナウイルスの影響により中止）	
市長段階査定額	3,216	【今後の取り組み】 大会内容の充実とともに大会告知に努め、参加者の増加を図る。 【根拠計画】 第11次総合計画 【市民ニーズの状況】 参加者には好評で、継続を望む意見が多数。	
区分	本年度予算額	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	384	
	一般財源	2,832	
	計	3,216	
	分担金	0	
	負担金	0	
	使用料	0	
	手数料	0	
	財産収入	0	
	寄付金	0	
	繰入金	384	
	贈収金	0	
	その他	0	
行財政改革課処理欄			

支所006	項目名	らっきょう生産振興大会助成事業	新規事業
予算書項目	地域特産物振興対策事業費	ページ	237
年度	R3	所属名 福部町総合支所 産業建設課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 福部町総合支所 産業建設課 0857-75-2814		
款 農林水産業費	【11次総の施策体系】 2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 平成4年度から毎年開催されている。また、平成28年3月に農林水産省から「鳥取砂丘らっきょう」「ふくべ砂丘らっきょう」が、地理的表示保護制度（GI）に登録されたことは、生産者の自信と生産基盤の強化につながっている。		
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 らっきょう生産に一層の意欲向上を図り、さらなるブランド化の定着を目指す。		
(単位：千円)	【事業内容】 らっきょう生産振興大会経費のうち2分の1を乗じて得た額を予算の範囲内で補助。		
前年度当初予算額	171	【事業実績】 平成30年度 171千円 令和元年度 171千円 令和2年度 0千円（新型コロナウイルスの影響により中止）	
本年度要求額	171	【今後の取り組み】 らっきょうの継続的な産地の維持発展のため、らっきょう生産振興大会の今後の一層の充実を図る。	
総務部長段階査定額	171	【事業内容】 らっきょう生産振興大会経費のうち2分の1を乗じて得た額を予算の範囲内で補助。	
市長段階査定額	171	【事業実績】 平成30年度 171千円 令和元年度 171千円 令和2年度 0千円（新型コロナウイルスの影響により中止）	
区分	本年度予算額	【今後の取り組み】 らっきょうの継続的な産地の維持発展のため、らっきょう生産振興大会の今後の一層の充実を図る。	
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	171	
	計	171	
	分担金	0	
	負担金	0	
	使用料	0	
	手数料	0	
	財産収入	0	
	寄付金	0	
	繰入金	0	
	贈収金	0	
	その他	0	
行財政改革課処理欄			

支所007	項目名	地域おこし協力隊事業費	新規事業
予算書項目	新地域特別振興費	ページ	173
年度	R3	所属名 河原町総合支所 地域振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】河原町総合支所 地域振興課 0858-76-3111		
款 総務費	【11次総の施策体系】2403		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 人口の減少や高齢化が進行し、地域活動や経済活動が低迷している西郷地区において、地域の活性化や定住促進を図るためには、さまざまなアイデアやスキルを有する地域外の有能な人材のサポートを必要としている。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 都市部の有能な人材を地域おこし協力隊員として委嘱することにより、地域の活性化や定住促進を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容・実績】 ・工芸祭りなどのイベントや民泊事業など滞在型グリーンツーリズム、地域情報の発信などを通じて地域外からの訪問者の増加を図り、移住・定住の促進や地域経済の活性化を図る。 ・年々増加する空家を移住者の住居やシェアハウスなどに活用することにより、さらなる移住者や訪問者の受入れ態勢を整備する。 ・三滝溪谷や湯谷温泉などの観光資源を有効に活用した観光戦略の立案や地区の魅力などを広く外部に情報発信する。		
前年度当初予算額	3,384	<実績> ・令和元年度 534千円 ・令和2年度(見込) 3,300千円	
本年度要求額	3,661	【今後の取組】 令和4年1月まで協力隊員を1名継続配置し、西郷地区のPRを積極的に進めていくほか、地域活性化のため様々な取り組みに地域と一体となり取り組んでいく。	
総務部長段階査定額	3,503	【財務の内訳】	
市長段階査定額	3,503	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈収金 0 その他 0	
区分	本年度予算額	【今後の取組】	
財源内訳	国・県支出金 0 地方債 0 その他 0 一般財源 3,503 計 3,503	令和4年1月まで協力隊員を1名継続配置し、西郷地区のPRを積極的に進めていくほか、地域活性化のため様々な取り組みに地域と一体となり取り組んでいく。	
行財政改革課処理欄			

支所008	項目名	いなば西郷工芸の郷づくり支援事業費	新規事業
予算書項目	新地域特別振興費	ページ	173
年度	R3	所属名 河原町総合支所 地域振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】河原町総合支所 地域振興課 0858-76-3111		
款 総務費	【11次総の施策体系】2201		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 平成25年やなせ窯の白磁作家、前田昭博氏が人間国宝に認定され、市長との対談で工芸家が複数活動している西郷地区の現状を踏まえ、西郷に工芸家をもっと増やして「ものづくりの里」にしたいとの思いを語られた。 鳥取県、鳥取市、鳥取商工会議所は、独自に工芸の郷づくりへの連携を表明、市においては「鳥取市創生総合戦略」、「第11次鳥取市総合計画」で工芸村を開設し、移住定住、地域活性化を図ることとしている。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 鳥取県新たな起業・創業者人材移住強化補助金 地区内の著名な3つの窯やガラス工芸、木工など多くの工芸作家や研修生が在住する地域の特色を活かして、工芸作家の人材誘致活動を推進し、少子高齢化が進む地域課題の解決と更なる地域活性化を図る。また、鳥取県に在住するただ一人の人間国宝として、海外においても著名な前田昭博氏とタイアップし、地域を挙げて地域特性を発揚しようとする西郷地区の取り組みを鳥取市が支援することは、本市の移住定住の取り組みにも注目が集まり、本市の移住促進に資するものである。		
(単位：千円)	【事業の内容】 (一社)西郷工芸の郷あまんじゃくが、工芸の郷づくりに資する人材へ定住支援等研修に要する経費。 2名の若手工芸作家が来郷		
前年度当初予算額	2,997	【事業実績】 ・令和2年度(見込) 2,803千円	
本年度要求額	1,232	【今後の取組】 工芸作家の移住支援を継続して取り組むことにより、西郷工芸の郷づくりを一層推進していく。	
総務部長段階査定額	1,232	【財務の内訳】	
市長段階査定額	1,232	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈収金 0 その他 0	
区分	本年度予算額	【今後の取組】	
財源内訳	国・県支出金 616 地方債 0 その他 0 一般財源 616 計 1,232	令和4年1月まで協力隊員を1名継続配置し、西郷地区のPRを積極的に進めていくほか、地域活性化のため様々な取り組みに地域と一体となり取り組んでいく。	
行財政改革課処理欄			

支所009	項目名	あゆ祭補助金	新規事業
予算書項目	観光キャンペーン事業費	ページ	247
年度	R3	所 属 名	
		河原町総合支所 産業建設課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】河原町総合支所 産業建設課 0858-76-3115		
款 商工費	【1次総の施策体系】2202		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 河原町は古くから「あゆの町」として知られており、あゆの豊漁を願うと同時に、「あゆの町・かわはら」を広くPRするため昭和54年度から開催している。		
目 観光費	【事業の目的及び効果】 あゆの町かわはらを広くPRするとともに地元経済の活性化を図るため、あゆ祭企画実行委員会を中心として毎年8月第1土曜日に実施している。 夏の風物詩として定着し、町内外から多くの来場者があり、地元経済が活性化されている。令和元年度は、第40回記念大会として実施し、より一層のPRにつなげた。		
(単位：千円)	【実施の内容・実績】 「第41回あゆ祭」：あゆのつかみ取り、あゆの塩焼き、子ども広場、子ども太鼓、女性太鼓、ステージショー、花火大会等 主催 あゆ祭企画実行委員会		
前年度当初予算額	5,145	平成30年度 補助金 1,573千円 7月豪雨により未実施 令和元年度 補助金 5,144千円 入込客数 25,000人 令和2年度 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
本年度要求額	5,188	【今後の取り組み】 鳥取自動車道の開通以降、年々近隣からの車での入込客数が増加傾向にある。今後も充実した事業展開が求められる。 ※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
総務部長段階査定額	5,145	【実施の内容・実績】 「第41回あゆ祭」：あゆのつかみ取り、あゆの塩焼き、子ども広場、子ども太鼓、女性太鼓、ステージショー、花火大会等 主催 あゆ祭企画実行委員会	
市長段階査定額	5,145	平成30年度 補助金 1,573千円 7月豪雨により未実施 令和元年度 補助金 5,144千円 入込客数 25,000人 令和2年度 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
区分	本年度予算額	【今後の取り組み】 鳥取自動車道の開通以降、年々近隣からの車での入込客数が増加傾向にある。今後も充実した事業展開が求められる。 ※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
財源内訳	国・県支出金 0 地方債 0 その他 629 一般財源 4,516 計 5,145	【実施の内容・実績】 「第41回あゆ祭」：あゆのつかみ取り、あゆの塩焼き、子ども広場、子ども太鼓、女性太鼓、ステージショー、花火大会等 主催 あゆ祭企画実行委員会	
その他財源の内訳	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 629 贈収入 0 その他 0	【今後の取り組み】 鳥取自動車道の開通以降、年々近隣からの車での入込客数が増加傾向にある。今後も充実した事業展開が求められる。 ※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
行財政改革課処理欄			

支所010	項目名	ジゲおこし事業費	新規事業
予算書項目	観光キャンペーン事業費	ページ	247
年度	R3	所 属 名	
		用瀬町総合支所 地域振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】用瀬町総合支所 地域振興課 0858-87-2111		
款 商工費	【1次総の施策体系】2201		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 「用瀬町ジゲおこし事業」は、昭和63年度から流しびなの里もちがせの地域活性化を目的に、ボランティアの委員で構成する用瀬町ジゲおこし実行委員会が、流しびなの里のイメージを内外に広めながら、地域の観光資源を活用して実施している。		
目 観光費	【事業の目的及び効果】 千代川や用瀬山系等を活用したイベントを支援することにより、地域の活性化や関係人口の創出・拡大を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容・実績】 ・イベント名 用瀬町ジゲおこし事業 ※ふれあいフェスティバル、用瀬山系トレイル交流大会（春、秋） 川遊びフェスティバル（夏、春）、用瀬宿横丁さんぼ市 の4事業 ・主催団体 用瀬町ジゲおこし実行委員会 ・実施予定月 [R3] フェスティバル（8月）、トレイル（4月、11月） 川遊び（8月、3月）、さんぼ市（11月） ・実施場所 用瀬町内 [平成30年度] [令和元年度] [令和2年度] ・参加者数（全体） 5,308人 5,784人 283人 ・補助金（全体） 1,654千円 1,629千円 504千円 ※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模縮小や感染防止策を講じた上で用瀬山系トレイル交流大会（秋）、川遊びフェスティバル（夏）、用瀬宿横丁さんぼ市を実施。		
前年度当初予算額	1,654	【当該年度計画】・補助金 1件	
本年度要求額	1,654	【市民ニーズの状況】 実行委員会は市民の参画度が大きくその満足度も大きい。イベント参加者から好評を得ている。	
総務部長段階査定額	1,654	【実施の内容・実績】 ・イベント名 用瀬町ジゲおこし事業 ※ふれあいフェスティバル、用瀬山系トレイル交流大会（春、秋） 川遊びフェスティバル（夏、春）、用瀬宿横丁さんぼ市 の4事業 ・主催団体 用瀬町ジゲおこし実行委員会 ・実施予定月 [R3] フェスティバル（8月）、トレイル（4月、11月） 川遊び（8月、3月）、さんぼ市（11月） ・実施場所 用瀬町内 [平成30年度] [令和元年度] [令和2年度] ・参加者数（全体） 5,308人 5,784人 283人 ・補助金（全体） 1,654千円 1,629千円 504千円 ※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模縮小や感染防止策を講じた上で用瀬山系トレイル交流大会（秋）、川遊びフェスティバル（夏）、用瀬宿横丁さんぼ市を実施。	
市長段階査定額	1,654	【当該年度計画】・補助金 1件	
区分	本年度予算額	【市民ニーズの状況】 実行委員会は市民の参画度が大きくその満足度も大きい。イベント参加者から好評を得ている。	
財源内訳	国・県支出金 0 地方債 0 その他 0 一般財源 1,654 計 1,654	【実施の内容・実績】 ・イベント名 用瀬町ジゲおこし事業 ※ふれあいフェスティバル、用瀬山系トレイル交流大会（春、秋） 川遊びフェスティバル（夏、春）、用瀬宿横丁さんぼ市 の4事業 ・主催団体 用瀬町ジゲおこし実行委員会 ・実施予定月 [R3] フェスティバル（8月）、トレイル（4月、11月） 川遊び（8月、3月）、さんぼ市（11月） ・実施場所 用瀬町内 [平成30年度] [令和元年度] [令和2年度] ・参加者数（全体） 5,308人 5,784人 283人 ・補助金（全体） 1,654千円 1,629千円 504千円 ※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模縮小や感染防止策を講じた上で用瀬山系トレイル交流大会（秋）、川遊びフェスティバル（夏）、用瀬宿横丁さんぼ市を実施。	
その他財源の内訳	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈収入 0 その他 0	【当該年度計画】・補助金 1件	
行財政改革課処理欄			

支所011	項目名	用瀬流しびな行事	新規事業
予算書項目	観光活動費	ページ	247
年度	R3	所属名 用瀬町総合支所 産業建設課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】用瀬町総合支所 産業建設課 0858-87-3786		
款 商工費	【1次総の施策体系】2202		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 毎年旧暦3月3日に男女一対の紙雛を棧俵に乗せ、無病息災を願って千代川に流す情緒豊かな民俗文化行事。		
目 観光費	【事業の目的及び効果】 行事に合わせイベントを実施することにより、地域の活性化を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容・実績】		
前年度当初予算額	500	・イベント名 もちがせ流しびな行事 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため、無観客での実施とするが、広く情報を発信するためにインターネットで動画を配信する。)	
本年度要求額	2,251	・主催団体 流しびな実行委員会	
総務部長段階査定額	1,252	・実施日 令和3年4月14日(水)	
市長段階査定額	1,252	・実施場所 千代川河川敷(流しびなの館対岸) [平成30年度] [令和元年度(①4/7・②3/26)]	
区分	本年度予算額	・参加者 5,000人 ①6,000人 ②一人(コロナ関係で中止)	
財源内訳	国・県支出金 250	・補助金 2,133千円 2,651千円	
地方債 0	地方債 0	※令和2年度は旧暦の3月3日が該当しないため、流しびな行事を実施せず。	
その他 0	その他 0	【市民ニーズの状況】「流しびな行事」の継承と保存について関心は高い。	
一般財源 1,002	一般財源 1,002	【その他】	
計 1,252	計 1,252	「用瀬のひな送り」は県無形民俗文化財に指定されている。 また、国の「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財(選択無形民俗文化財)」に「用瀬の流しびな」が選択された。(令和3年1月15日 国の文化審議会答申)	
行財政改革課処理欄	行財政改革課処理欄		

支所012	項目名	ふるさとの味祭り事業費補助金	新規事業
予算書項目	むらづくり活性化推進事業費	ページ	235
年度	R3	所属名 佐治町総合支所 地域振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】佐治町総合支所 地域振興課 0858-88-0211		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 「佐治ふるさと祭り」は昭和57年から佐治地域の秋の収穫祭として開催しており、平成27年からは、公民館祭りと共同開催としている。また、令和元年度は、小学校の学習発表会も合同で開催した。		
目 農業総務費	【事業内容】 佐治地域の秋の収穫祭として、地元の農産物や加工品の販売、郷土芸能の発表、公民館事業の展示等を中心とした「佐治ふるさと祭り」を毎年開催している。地域の団体で構成する実行委員会が主催。佐治地域内外の多くの人の参加があり、佐治地域の秋のイベントとして定着している。 主催 佐治ふるさと祭り実行委員会		
(単位：千円)	【事業実績】		
前年度当初予算額	1,350	平成30年度 1,350千円 入込客数800人	
本年度要求額	1,350	令和元年度 1,350千円 入込客数800人	
総務部長段階査定額	1,350	令和2年度 新型コロナウイルス感染症防止の観点から中止	
市長段階査定額	1,350	【今後の取組】 佐治地域の活性化策として、より一層の充実を図る。	
区分	本年度予算額	※その他の財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
財源内訳	国・県支出金 0	分担金 0	
地方債 0	地方債 0	負担金 0	
その他 492	その他 492	使用料 0	
一般財源 858	一般財源 858	手数料 0	
計 1,350	計 1,350	財産収入 0	
行財政改革課処理欄	行財政改革課処理欄		

支所013	項目名	文化振興費	新規事業
予算書項目	文化振興費	ページ	283
年度	R3	所 属 名 佐治町総合支所 地域振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】佐治町総合支所 地域振興課 0858-88-0211		
款 教育費	【1次総の施策体系】2301		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 佐治地域の宝である「佐治谷話」を保存伝承するため、佐治民話会への事業委託及び補助により佐治谷ばなし紙芝居や本の作成、小中学生への伝承活動、各地区公民館への普及活動など多様な事業を幅広く行っている。		
目 文化振興費	【事業内容】 佐治民話会による保存伝承活動への補助金 補助対象事業費・51千円 補助金額・25千円：文化財保存及び保護に関する補助金		
(単位：千円)	【事業実績】		
前年度当初予算額	25	平成30年度	25千円
本年度要求額	25	令和元年度	25千円
総務部長段階査定額	25	令和2年度	25千円
市長段階査定額	25	【事業実績】	
区分	本年度予算額	分担金	0
財源内訳		負担金	0
国・県支出金	5	使用料	0
地方債	0	手数料	0
その他	0	財産収入	0
一般財源	20	寄付金	0
計	25	繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
行財政改革課処理欄			

支所014	項目名	芸術によるまちづくり推進事業費	新規事業
予算書項目	地域振興対策費	ページ	273
年度	R3	所 属 名 気高町総合支所 地域振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】気高町総合支所 地域振興課 0857-82-0011		
款 総務費	【1次総の施策体系】2301		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 気高地域では、平成26年8月に「鳥取市新地域振興ビジョン」を策定し、「芸術のまちづくり」の取り組みを進めている。		
目 企画費	文化芸術団体である「ことり舎」は、映画塾やワークショップを企画・運営するとともに気高町を舞台とした映画の撮影を行い、地域の魅力の発信や活性化に貢献している。		
(単位：千円)	市と鳥取県でそれぞれ1/2を補助し支援する。		
前年度当初予算額	1,000	【事業の内容・実績】 浜村温泉湯けむり映画塾の開催 ①ワークショップ②作品撮影、上映の開催	
本年度要求額	1,000	実績 平成30年度作品 「はだかのおじさん」 令和元年度作品 連続ミニドラマ「拝啓、砂の国より」 令和2年度 アニメ作品を制作 毎年2月頃に開催する浜村温泉映画祭で作品を上映するほか、ケーブルテレビで放送。	
総務部長段階査定額	1,000	【今後の取り組み】 ワークショップで人材を育成し、ことり舎だけでなく、地域住民や団体と協力して「映画塾」を開催・運営することでさらなる地域の活性化につなげる。	
市長段階査定額	1,000	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	0
財源内訳		使用料	0
国・県支出金	0	手数料	0
地方債	0	財産収入	0
その他	0	寄付金	0
一般財源	1,000	繰入金	0
計	1,000	贈収入	0
		その他	0
行財政改革課処理欄			

支所015	項目名	小さな拠点整備事業	新規事業
予算書項目	新市域特別振興費	ページ	173
年度	R3	所 属 名	
		気高町総合支所 地域振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】気高町総合支所 地域振興課 0857-82-0011		
款 総務費	【11次総の施策体系】2403		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 浜村駅を中心として発展してきた浜村地区では、少子高齢化の進展による地域の自治力の低下が懸念されている。持続可能な地域として浜村地区の活性化を図るため、昨年度、検討組織を立ち上げランドデザインを策定した。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 浜村地区の安全安心な暮らしを守るために必要な機能を維持し、持続可能な地域の活性化を図るため、昨年度策定したランドデザインを基に、小さな拠点事業を活用し具体的な実施計画を策定する。		
(単位：千円)	【事業の内容・実績（過去3年）】 令和2年度 組織立ち上げ（浜村地区活性化委員会）、ランドデザイン策定		
前年度当初予算額	0	【今後の取り組み】 浜村地区活性化に向けて、小さな拠点実施計画の策定に取り組む。	
本年度要求額	300		
総務部長段階査定額	300	【事業の内容・実績（過去3年）】 令和2年度 組織立ち上げ（浜村地区活性化委員会）、ランドデザイン策定	
市長段階査定額	300	【今後の取り組み】 浜村地区活性化に向けて、小さな拠点実施計画の策定に取り組む。	
区分	本年度予算額	【事業の内容・実績（過去3年）】 令和2年度 組織立ち上げ（浜村地区活性化委員会）、ランドデザイン策定	
財源内訳		【今後の取り組み】 浜村地区活性化に向けて、小さな拠点実施計画の策定に取り組む。	
国・県支出金	150		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	150		
計	300		
行財政改革課処理欄			

支所016	項目名	貝がら節まつり補助金	新規事業
予算書項目	観光キャンペーン事業費	ページ	247
年度	R3	所 属 名	
		気高町総合支所 地域振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】気高町総合支所 地域振興課 0857-82-0011		
款 商工費	【11次総の施策体系】2202		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 貝がら節まつりは気高地域を代表する夏祭りとして定着しており、貝がら節踊りや民謡貝がら節のふるさとを広くPRするとともに、郷土芸能の伝承や交流人口の増加に寄与してきた。		
目 観光費	【事業の目的及び効果】 山陰海岸ジオパークのエリア拡大を契機に貝がら節まつりを地域内外に発信し、誘客を図るとともに地域住民の一体感の醸成、郷土芸能の伝承など地域の活性化に寄与する。		
(単位：千円)	【事業の内容・実績（過去3年）】 貝がら節総踊り、レーザー花火ショー、屋台村、芸能ステージ、船屋台パレードなど		
前年度当初予算額	3,977	平成30年度 延べ参加者 5,500人 令和元年度 延べ参加者 5,500人 令和2年度 (コロナウイルス感染防止のため開催中止)	
本年度要求額	3,977	【今後の取り組み】 年間を通して集客できるようストーリー性を持たせ戦略的にイベントを開催していく。またイベント同士の連携も図っていく。	
総務部長段階査定額	3,977	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
市長段階査定額	3,977		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	602		
一般財源	3,375		
計	3,977		
行財政改革課処理欄			

支所019	項目名	わったいな祭事業費	新規事業
予算書項目	観光キャンペーン事業費	ページ	247
年度	R3	所属名 鹿野町総合支所 地域振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】鹿野町総合支所 地域振興課 0857-84-2011		
款 商工費	【1次総の施策体系】2201		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 住民団体と行政とが連携し、地域の活性化をめざすイベントとして、平成12年度から毎年開催。地元や近隣のグループなどが気軽に参加できる体制をつくっている。		
目 観光費	【事業の目的及び効果】 鹿野地域のにぎわい創出と交流人口の増を目的に、平成30年度から例年秋に開催される地元行事（鳥の演劇祭、週末だけのまちのみせ）との連携を図り、住民の地域づくりの意識向上と地域経済の活性化に寄与している。		
(単位：千円)	【事業の内容】 秋の地元行事（鳥の演劇祭、週末だけのまちのみせ）の主会場となる、城下町地域での盛り上げイベントや、特産物等の即売を行う「鹿野ええもん市」、文化団体等による作品展示会を開催。		
前年度当初予算額	2,140	【イベント名】鹿野わったいな祭	
本年度要求額	2,140	【主催団体】鹿野町総合支所地域振興課、いんしゅう鹿野まちづくり協議会	
総務部長段階査定額	2,132	【実施予定日】9月・10月下旬	
市長段階査定額	2,132	【実施場所】鹿野城下町地区	
区分	本年度予算額	【参加予定人数】18千人	
財源内訳	国・県支出金 0	【総事業費】2,132千円	
	地方債 0	【事業実績】	
	その他 0	平成30年度 1,801千円 来場者 5千人	
	一般財源 2,132	令和元年度 2,025千円 来場者 18千人	
計	2,132	令和2年度 854千円 来場者 0千人 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)	
行財政改革課処理欄			

支所020	項目名	町民音楽祭開催費	新規事業
予算書項目	市民音楽祭開催費	ページ	283
年度	R3	所属名 鹿野町総合支所 地域振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】鹿野町総合支所 地域振興課 0857-84-2011		
款 教育費	【1次総の施策体系】2301		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 鹿野町民音楽祭実行委員会が主体として開催するふるさとミュージカルは、昭和62年にはじまり、多数の住民が参画しながら継続して開催され、鹿野発の鳥取市民ミュージカルとして、またレベルの高い芸術活動として内外から認知されるようになった。		
目 文化振興費	活動に着手して以来35周年を迎え、活動のさらなる定着を目指して地域内指導者の育成や市内舞台芸術団体との連携強化に努め、多くの市民の参画を得ながら自主的に企画・制作・運営を行っている。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】 地域の文化芸術振興・魅力ある地域づくり・多世代間交流の促進による住民コミュニティの醸成等を総合的に支援するため、継続した活動補助を行う。		
前年度当初予算額	3,200	ミュージカルの制作期間は約半年間に及び、この間展開される広い年齢層の市民交流は、良好な市民コミュニティづくりに於いても貢献している。	
本年度要求額	3,200	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	3,200	【事業名】第35回鹿野ふるさとミュージカル「さくら姫物語」予定制作上演事業	
市長段階査定額	3,200	【事業予定日】令和3年8月29日（上演期日）	
区分	本年度予算額	【実施場所】鳥取市民会館	
財源内訳	国・県支出金 0	【事業主体】鹿野町民音楽祭実行委員会	
	地方債 0	【総事業費】4,350千円	
	その他 554	【事業実績】	
	一般財源 2,646	平成30年度 2,650千円 入場者数 563人（1回公演） 会場 鳥取市民会館	
計	3,200	令和元年度 3,200千円 539人（1回公演） 鳥取市民会館	
行財政改革課処理欄	令和2年度 0千円（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止） ※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金		

支所023	項目名	青谷ようこそ夏まつり事業費	新規事業
-------	-----	---------------	------

予算書項目	観光キャンペーン事業費	ページ	247
-------	-------------	-----	-----

所 属 名	青谷町総合支所 地域振興課
-------	------------------

年度	R3
----	----

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	商工費
目	観光費

(単位：千円)

前年度当初予算額	950
----------	-----

本年度要求額	950
--------	-----

総務部長段階査定額	950
-----------	-----

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収入	0
その他	0

市長段階査定額	950
---------	-----

区 分	本年度予算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	950
計	950

事業の概要

【問合せ先】青谷町総合支所 地域振興課 0857-85-0011

【1次総の施策体系】2403

【事業の経過及び背景】

令和3年度で24回目となる「青谷ようこそ夏まつり」は、地域住民が主体となって青谷地域の魅力発信に取り組んでいる。継続して実施することで多くの地域住民に認知され、親しまれるイベントとして実施している。

【事業の目的及び効果】

青谷地域および西いなば全体の観光振興及び商業振興を目的とし、住民参加型でも幅広い取組にしていくことにより、交流人口の増加や地域振興につなげる。また鳥取西道路が開通しアクセスの利便性が高まる中、西いなば地域の重要なイベントとして取り組むことにより、事業の発展および連携の強化を図る。

【事業の内容・実績】

- (1) 事業主体 青谷ようこそ夏まつり実行委員会
- (2) 内 容 ステージイベント、屋台などの会場イベント
- (3) 実 績

平成30年度：入場者実績 3,500人 決算額 950千円

令和元年度：入場者実績 3,000人 決算額 950千円

令和2年度 決算額 0千円

(※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業中止)

行財政改革課処理欄